

Liebestod—愛の死 (新作)

Painted Desert (レパートリー)

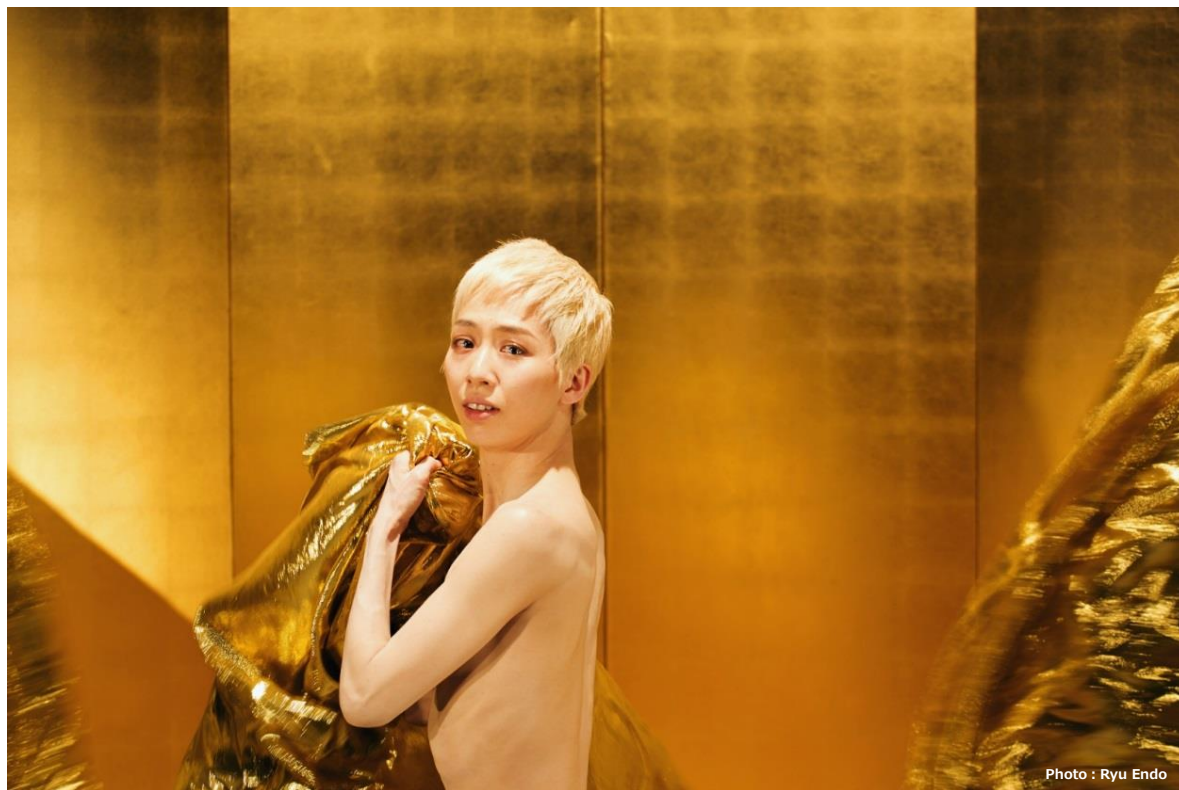


Photo : Ryu Endo

Noism を牽引する金森穰渾身の最新作×Noism2 専属振付家・山田勇気の代表作！

1. 『Painted Desert』(レパートリー)

演出振付：山田勇氣

衣裳：山田志麻

映像：遠藤龍

出演：中川賢、石原悠子、池ヶ谷奏、リン・シーピン、浅海侑加、チャン・シャンユー、坂田尚也、井本星那

2. 『Liebestod—愛の死』(新作)

演出振付：金森穰

衣裳：宮前義之 (ISSEY MIYAKE)

音楽：R.ワーグナー《トリスタンとイゾルデ》より Prelude & Liebestod

出演：井関佐和子、吉崎裕哉

1 《前奏曲》：Duo 歓喜の女：井関佐和子、末期の男：吉崎裕哉

2 《愛の死》：Solo 歓喜の女：井関佐和子

【新潟公演】 2017.5.26 (金) ~28 (日) りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館〈劇場〉

【埼玉公演】 2017.6.2 (金) ~4 (日) 彩の国さいたま芸術劇場〈大ホール〉

作品について

日本で唯一の公立劇場専属舞踊団として、新潟を拠点に活動を続ける Noism。設立から 10 年以上経過した今なお、国内唯一の劇場専属舞踊団として、芸術監督・金森穰率いるカンパニー活動と、舞踊家達の圧倒的な身体によって生み出される作品は国内外で常に高い評価を得ています。

2016 年秋よりスタートした 13th シーズンは、1～2 月にかけてメインカンパニー Noism1 による新作『マッチ売りの話』+『passacaglia』を上演。表現方法の全く異なる 2 作品を通して、宗教や信仰、科学や生命…等さまざまな問いを内包しながら、混沌を極める現代社会に舞踊団にしかできない在り方で向き合いました。

続く初夏の公演は、金森穰の最新作と、Noism2 専属振付家・山田勇気の代表作の 2 本立てです。

Noism 芸術監督・金森穰の最新作は、ワーグナーの《トリスタンとイゾルデ》より前奏曲と終曲《愛の死》を用いて創る『愛の死』。18 歳の頃から金森を虜にし続けてきた音楽が、25 年の歳月を経てついに舞台化されます。衣裳には再び ISSEY MIYAKE の宮前義之を迎えます。演出振付家としての原点に立ち返り、究極の愛のデュオに真正面から挑みます。金森にとって「舞踊とは何か」に迫る作品です。

同時上演するのは、Noism2 専属振付家兼リハーサル監督として自身の作品も精力的に発表してきた山田勇気の『Painted Desert』。現職に就任して最初に山田が Noism2 と共に創作した作品です。純白の舞台空間で流れるように踊り続ける舞踊家たちの「色」が滲み出る、味わい深い一作として好評を博し、2015 年にも再演を果たしました。山田の代表作を Noism1 のメンバーが大劇場でどのように踊り上げるのか、ご注目ください。



Noism1『マッチ売りの話』+『passacaglia』(2016年)
©Kishin Shinoyama



Noism2『Painted Desert』(2015年 再演より)
©Isamu Murai

Director's Note

金森 穰

2017年 Noism1 初夏の公演は、2014年に山田勇気が Noism2 に振り付けた『Painted Desert』の Noism1 初演と、私の新作『Liebestod－愛の死』によるダブルビル公演となります。

『Painted Desert』は、Noism2 が 2009 年の設立以来発表してきた数々の作品の中でも、その構成および実演において群を抜いて優れた作品です。ここでいう実演とは、舞踊家が個の才能としてすでに持ち合わせた力量によるものではなく、優れた作品が往々にしてそうであるように、作品が舞踊家を刺激することによって可能となる、互恵的実演のことであります。この度の Noism1 による実演が本作品の力を存分に開示すると共に、舞踊家たちの新たな可能性（私にとっても）を開示することを期待しています。

新作『Liebestod－愛の死』は、その名を冠するワーグナーによる 19 世紀オペラの傑作『トリスタンとイゾルデ』の前奏曲と終曲（愛の死）を用いて創作されます。この楽曲は 18 歳の時に初めて耳にして以来私を魅了し続け、いつか必ず創作したいと心に秘め続けていた楽曲です。この度その創作に踏み切ったこと背景には、創作を始めてから 25 年が経つ私自身の心境の変化があります。それは自らの創作的課題を機能としての身体に託したり、演出法や振付法といった頭脳に託したり、あるいは社会性という問題提起に託して自己批判（否定ではありません）を繰り返しながら歩んできたこの道において、今一度自らの感動による感動の創出という、創作の原点に回帰したいという思いに他なりません。

ある音楽が私の魂を驚掴みにし、それによって沸き起こる、この身を引き裂くほどの感動を舞台上に顕在化すること。もちろん私はこれまでの創作においても常に、私の心を動かす音楽や物語、あるいはコンセプトや舞踊家たちを創作の核としてきました。しかしこれほど純粋に、その音楽が私に与える啓示をその音楽とともに舞台上に顕在化させること（そうしようと試みることは、私が 20 歳の時に創作した『Under the marron tree』以来のことかもしれません。

最後に、このロマン主義的創作が私にとって、困難な現実から逃避するための手段ではなく、この時代をより切実に生きていくための、必然的な魂の所在であることを述べておきたいと思います。



Photo:Kishin Shinoyama

金森 穰 Jo KANAMORI

演出振付家、舞踊家。りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 舞踊部門芸術監督/Noism 芸術監督。17 歳で単身渡欧、モーリス・ベジャール等に師事。ルードラ在学中から創作を始め、NDT2 在籍中に 20 歳で演出振付家デビュー。10 年間欧州の舞踊団で舞踊家、演出振付家として活躍したのち帰国。2004 年 4 月、りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督に就任し、日本初の劇場専属舞踊団 Noism を立ち上げる。近年ではサイトウ・キネン・フェスティバル松本での小澤征爾指揮によるオペラの演出振付を行う等、幅広く活動している。14 年 6 月より新潟市文化創造アドバイザーに就任。平成 19 年度芸術選奨文部科学大臣賞、平成 20 年度新潟日報文化賞ほか受賞歴多数。
www.jokanamori.com

Painted Desert 初演時演出ノートより

アリゾナの地名である「Painted Desert」

カラハリ砂漠に住むブッシュマンに伝わる言葉「There is a dream, dreaming us」この二つの言葉に、突き動かされました。

しかしそれは、これからの私に影響を与えたと言ってよく、あくまで限定されたこの作品の解釈は、この場のみなさんのなかであり、これはダンスであり、35分のイメージであり、若いエネルギーであり、私（たち）が毎日の生活で感じた、いろいろな体験についての、観念のごった煮です。

幸せなときも悲しいときも同じように練り込まれる、天然色の潮の音と、極彩色の記憶のすり身、つまりは情念の「カマボコ」であり、愛と夢の断面文字を持つ「千歳飴」なのです。

ここには、大いなる時間と戦う、夢の登場人物たちがいます。この動きは、曖昧な記憶がむらがる夢の境界線上で行われた、交信の試みです。似ているけど違う。違うけど似ている。そんな記憶の束をかさねて一枚にした、灰白い地図に標されたある一点を「Painted Desert」と呼んだ次第です。

いつも「動き」は消えて行き、「僕らの動き」もやはり、空間を真っ黒にすることはできないのですが、ならばいったい、何が、何処に、消えて行ってしまったのでしょうか。

「作品よ、これが夢なら美しくあれ！」

2014年3月



Photo : Noriki Matsuzaki

山田 勇気 Yuki YAMADA

舞踊家、振付家。Noism2 専属振付家兼リハーサル監督。北海道生まれ。北海道教育大学函館校にて清水フミヒトに出会いダンスをはじめ。2005年 Noism に入団。退団後、武道家日野晃に学ぶ。13年より Noism2 専属振付家兼リハーサル監督に就任。プロを目指す若手舞踊家を率い、新作を発表している。近年は新潟市内の小中学生や舞踊未経験者にむけたワークショップ等のアウトリーチ活動も積極的に行っている。



Noism2『Painted Desert』(2014年)初演より
©Isamu Murai

Guest Creator's Profile

宮前 義之 Yoshiyuki MIYAMAE | 衣裳 (愛の死)

1976 年生まれ。1998 年に文化服装学院アパレルデザイン科を卒業。2001 年から三宅デザイン事務所入社。三宅一生と藤原大が率いた A-POC の企画チームに参加。2006 年から ISSEY MIYAKE の企画チームに加わる。2011 年から ISSEY MIYAKE のデザイナーに就任。2012 年春夏よりパリでのショーを手掛ける。2014 年には毎日ファッション大賞の大賞を受賞。

www.isseymiyake.com



Photo : Olivier Baco

山田 志麻 Shima YAMADA | 衣裳 (Painted Desert)

1972 年生まれ。90 年より、様々なフリースタイリストのアシスタントとして広告業界に携わる。多くの人・場所での活動を経て、01 年に新潟で独立。主に企業広告、TV、CM、ディスプレイ等のスタイリストとして活動。05 年より「りゅーとびあ能楽堂シェイクスピアシリーズ」の衣裳管理スタッフとして、国内外の公演に携わる。10 年より Noism の公演でも衣裳管理を担当している。



遠藤 龍 Ryu ENDO | 映像 (Painted Desert)

1983 年新潟県出身

映像 + 写真

個人活動の他にプロジェクトユニット mikkyoz から作品を発表している。



Noism1 ノイズムワン

www.noism.jp

りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する日本で唯一の公立劇場専属舞踊団。演出振付家・舞踊家の金森穰がりゅーとびあ舞踊部門芸術監督に就任したことにより 2004 年に設立。プロフェッショナルカンパニーNoism1 と研修生カンパニーNoism2 で構成。Noism1 はモスクワ・チェーホフ国際演劇祭との共同制作や、サイトウ・キネン・フェスティバル松本のオペラ&バレエへの出演など、国内や海外各地で多岐に渡って活動している。舞踊家たちの圧倒的な身体と鋭い問題意識に裏打ちされた作品、新潟から世界を見据えたカンパニー活動は、21 世紀の新たな劇場文化モデルとして各方面から注目を集めている。



井関佐和子 (副芸術監督)

Photo : Noriki Matsuzaki



中川賢

石原悠子

池ヶ谷奏

吉崎裕哉

リン・シーピン

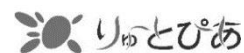
浅海祐加

チャン・シャンユー

坂田尚也

公演情報

新潟公演



2017年5月26日(金) 19:00, 27日(土) 17:00, 28日(日) 15:00 *全3回

会場：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈スタジオB〉

入場料：一般 S席 4,000円、A席 3,000円 / U25 S席 3,200円、A席 2,400円

取扱：りゅーとぴあ（窓口・電話・オンライン）

チケット専用ダイヤル 025-224-5521（11:00-19:00、休館日除く）

オンライン・チケット <http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>

イープラス <http://eplus.jp/>（PC・MB）

埼玉公演



2017年6月2日(金) 19:00, 3日(土) 17:00, 4日(日) 15:00 *全3回

会場：彩の国さいたま芸術劇場〈大ホール〉

入場料：一般 5,500円、U25 3,500円（全席指定）

*U25は彩の国さいたま芸術劇場のみ取扱い *枚数制限あり

取扱：彩の国さいたま芸術劇場チケットセンター（窓口・電話・オンライン）

0570-064-939（10:00-19:00、休館日除く） <http://www.ticket.ne.jp/saf/>

埼玉会館（窓口のみ。3/31まで平日10:00-17:00、4月以降は休館日を除く10:00-19:00）

りゅーとぴあ（窓口・電話・オンライン）

チケット専用ダイヤル 025-224-5521（11:00-19:00、休館日除く）

オンライン・チケット <http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>

イープラス <http://eplus.jp/>（PC・MB）

チケット発売日：【新潟】N-PAC mate（友の会）先行：3月23日（木） / 一般：3月25日（土）

【埼玉】SAFメンバーズ先行：3月25日（土） / 一般：3月26日（日）

※ U25（25歳以下）は入場時に身分証をご提示ください。

※ 開演時間を過ぎますとしばらくの間ご入場いただけない場合や、ご自席に着席いただけない場合がございます。予めご承知ください。

※ 託児サービス、車イス席等の詳細はNoismウェブサイト、各劇場のHPをご覧ください。

※ 未就学児の入場はご遠慮いただいております。

主催：公益財団法人新潟市芸術文化振興財団

製作：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

共催：公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団 ※埼玉公演

作品に関するお問い合わせ

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 Noism 上杉・堀川

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町 3-2

Tel: 025-224-7000 Fax: 025-224-5626 Mail: info-noism@ryutopia.or.jp

Noism オフィシャルウェブサイト www.noism.jp



Noism



@noismPR